

第 19 回有機触媒シンポジウム

日時：2026 年 7 月 17 日（金）～7 月 18 日（土）

会場：北海道大学 工学部 フロンティア応用科学研究棟 鈴木章ホール

主催：北海道大学 大学院工学研究院・フロンティア化学教育研究センター（FCC）

共催：有機触媒研究会

協賛：日本化学会・日本薬学会・有機合成化学協会・触媒科学計測共同研究拠点・

北海道大学化学反応創成研究拠点 List サステナブル DX 触媒連携研究プラットフォーム（WPI-ICReDD List-PF）・
学術変革領域研究（A）“グリーン触媒科学”

プログラム

招待講演（IL）：発表 50 分 + 質疑 10 分

口頭発表（OC）：発表 15 分 + 質疑 5 分

7 月 17 日（金）

13:00–13:10 開会の挨拶 （北大院工、FCC 長）大熊 毅

Session 1 座長 （名工大院工）中村 修一

13:10–14:10 **IL1**（北大 ICReDD）○辻 信弥
不斉酸触媒における反応開拓と反応空間設計

Session 2 座長 （立命館大薬）森本 功治

14:10–14:30 **OC1**（阪大産研）T. Z. Aye, M. S. H. Salem, ○S. Takizawa
Organocatalytic Synthesis of Azosinoindoles via Chiral Self-recognition

14:30–14:50 **OC2**（名大院工[†]・国立陽明交通大学[‡]）○ウヤヌク ムハメット[†]・HUANG Cheng-Hsun[‡]・三鍋 駿介[†]・LIN Yu-Huan[‡]・WU Yen-Ku[‡]・石原 一彰[†]
Crinine 型アルカロイドの不斉合成を指向したキラル有機ヨウ素触媒による遠隔不斉酸化的脱芳香族化 C–C 結合形成

14:50–15:30 Break

Session 3 座長 （名大院工）ウヤヌク ムハメット

15:30–15:50 **OC3**（阪大院工）○藤本 隼斗・山村 志悟・村上 涼太・鳶巣 守
芳香族アミンにより制御されるアラインとアルデヒドの交互共重合

15:50–16:10 **OC4**（学習院大理）○内倉 達裕・田中 美南・木内 鈴愛・秋山 隆彦
六フッ化硫黄を用いた光レドックス条件におけるペンタフルオロスルファニルエナミドの合成とその有機触媒反応への展開

16:10–16:30 **OC5**（長崎大院総合生産）○白川 誠司・奥野 研・角田 小桜・山川 美奈
分子認識型スルフィド触媒を用いた不斉四級炭素を有するカルボン酸の速度論的

光学分割

- Session 4** 座長 (長崎大院総合生産) 白川 誠司
16:30–17:30 **IL2** (静岡県大院薬) ○濱島 義隆
有機触媒を利用するグリーン精密分子変換—潜在的触媒作用の開拓—
18:00– 懇親会 (カフェ de ごはん)

7 月 18 日 (土)

- Session 5** 座長 (千葉大院薬) 石川 勇人
9:00–9:20 **OC6** (理研・千葉大院薬) ○橋本 卓也
酸化還元活性対アニオンの創成
9:20–9:40 **OC7** (産総研¹, 京大院薬²) 明野 純也^{1,2}・高須 清誠²・生長 幸之助¹・深谷 訓久¹・○上田 善弘¹
糖-アスパラギン結合体の 3 工程合成法の開発
9:40–10:00 **OC8** (東北大院薬¹・東北大多元研²・東北大院理³) ○笹野 裕介¹・大城 彩里¹・齋藤 周¹・荒木 保幸²・権 根相³・岩渕 好治¹
テトラゼンラジカルカチオン塩の単離と有機酸化触媒への展開
10:00–10:30 Break
Session 5 座長 (お茶大院基幹研) 矢島 知子
10:30–11:30 **IL3** (慶応理工) ○大松 亨介
イオン性有機分子と電子移動の組み合わせによる反応性創出
11:30–12:30 お昼休憩
12:30–14:00 ポスターセッション (前半 45 分: 奇数番号、後半 45 分: 偶数番号)
Session 6 座長 (産総研) 上田 善弘
14:00–14:20 **OC9** (東北大院薬) 笹本 大空・曾我 天音・林和 寿・根東 義則○重野 真徳
芳香族トリフルオロメトキシ化合物の触媒的交換反応
14:20–14:40 **OC10** (北大院工¹・北大院総化²・北大 ICR/DD List-PF³) ○Li Feng¹・三輪 俊輝²・松田 実乃璃²・鈴木 涼太¹・磯野 拓也¹・佐藤 敏文^{1,3}
ポリエステルを合成するための有機触媒の新展開: 基質汎用性と触媒安全性
14:40–14:50 閉会の挨拶 (東北大院理) 寺田 眞浩

ポスターセッション

18 日（土）12:30–14:00（前半 45 分：奇数番号、後半 45 分：偶数番号）

P1（神戸薬大薬）○高橋 有紀・平田 翼・波多野 学

光レドックス触媒・Lewis 酸触媒を用いるビニルピリジンの位置選択的ヒドロ官能基化反応

P2（東北大院理）○近藤梓・冷水奨・鈴木宏周・寺田眞浩

不斉有機超強塩基触媒を用いた分子内環化反応による光学活性ベンゾホスホールオキシドの合成

P3（北大触媒研¹・九大院理²・北大院環境³）○吉田楽人¹・堀雄一郎²・コノリー里沙³・小野田晃³・浦口大輔¹・浅野圭佑¹

生体適合型臭素化剤 BODN による可視光触媒的チロシン標識

P4（名工大院工）○安達 英徳・安川 直樹・中村 修一

テトラゾール導入シンコナルカロイド触媒を用いた不斉脱炭酸型 Mannich 反応の開発

P5（北大院総化¹・北大院工²・北大 ICR/DD List-PF³）○杉山萌乃¹・綾川陽斗¹・吉田彩乃¹・鈴木涼太²・Gao Tianle²・山本拓矢²・Li Feng²・磯野拓也²・佐藤敏文^{2,3}

有機触媒を用いた 1,1-二置換エポキシドの開環重合

P6（北大院総化¹・北大院工²・北大 ICR/DD List-PF³）○黒瀬翔大¹・鈴木涼太²・高添樂²・李豊²・山本拓矢²・磯野拓也²・佐藤敏文^{2,3}

有機分子触媒を用いた発光性ポリエステル合成および発光挙動の評価

P7（北大院総化¹・北大院工²・北大 ICR/DD List-PF³）○永井孝幸¹・寛祐人¹・Li Feng²・山本拓矢²・磯野拓也²・佐藤敏文^{2,3}

ルイス酸触媒を用いたカチオン開環共重合による資源循環型ポリアセタールの開発

P8（農工大院工¹, CARMEN²）○李翔皓¹・大澤瞳生¹・雨海美羽¹・Cahard Dominique²・長澤和夫¹

Az lactone の触媒的二量化反応を利用したジアミノ酸等価体の合成研究

P9（立教大院理）○高野泰英・山中正浩

柔軟なビピリジン配位子-Ni 触媒系による立体選択的カルボキシル化反応の開発

P10（北大院生命¹, 北大触媒研²）○石丸北都¹・浦口大輔²

新奇光活性ボラート塩をアニオン性光触媒としたシクロプロパン誘導体の[3+2]光付加環化反応

P11（立教大院理）○石渡莉子・山中正浩

インドールの触媒的 C-H 結合直接ホウ素化反応における位置選択性の制御

P12（立教大院理）○屋山 寧音・山中 正浩

ビピリジン-銅触媒を用いたエントロピー駆動型不斉ホウ素化反応

P13 (名大院工¹・名大 ITbM²) ○塩田 祐里菜¹・中島 翼¹・大井 貴史^{1,2}

可視光による直接励起を介して機能するジチオカーバメートラジカル共有結合触媒の開発と応用

P14 (立命館大薬・立命館大総研) ○森本 功治・柳瀬 伽奈・土肥 寿文・北 泰行

超原子価ヨウ素(III)触媒を用いたフェノール類およびアニリン類とアゾール類の酸化的 C-H アミノ化

P15 (お茶大院理¹, 群馬高専², 東京農工大院工³) ○菅原沙紀¹・武田史¹・山崎恵理¹・工藤まゆみ²・長澤和夫³・棚谷綾¹

芳香族層状ウレアのらせん構造に基づく新規チオウレア触媒の創製

P16 (千葉大院薬) 松宮諭史・Sittisak Oekchuae・水上幸音・北島満里子・高山廣光・○石川勇人

不斉有機触媒反応を利用した多量体型モノテルペノイドインドールアルカロイド類の全合成

P17 (北大院生命科学¹・北大触媒研²) ○玉澤昇太¹・趙強²・浦口大輔²

シリルエノールエーテルの光触媒的ヒドロアセトキシ化による *trans*-1,2-ジオール誘導体のジアステレオ選択的合成